

平成26年度教育学部学生モニター会議 回答まとめ(平成26年12月11日実施)

要望・意見		回答者	回答内容
(カリキュラム、授業内容、授業方法について)			
1	(美術)テレビやプロジェクターが設置されている教室と設定されていない教室がある。美術教育講座の教室には設置されていないので、授業毎にプロジェクター等を準備しなければならない。設置の有無に違いがあるのはなぜか？	美術教育講座教員	美術教育講座としては、各管理教室の機能に応じた整備をしていますので、現状どおりで対応します。
2	(特別支援)特別活動、外国語活動の指導を学ぶ授業について、実習前に設けてほしい。	教育コーディネーター 教務委員会	会議中の回答にあるように、すべての指導法関連科目を実習前に開講することには時間割作成等の制約があるが、実際に個々の実習生にとって明らかに必要な事項(例えば指導案の作成等)について学ぶ機会が実習前にはない、という指摘は、本要望(2番)以外にもあった。教務委員会で紹介して周知し、関連授業担当者とともに、所属専修等にも呼びかけた。また、教育課程再編等の際に検討できるようにしたい。
3	(特別支援)図書館司書教諭の免許資格申請が6月になっているが、4回生の前期までに課程を取り終えた人は教員採用試験に資格取得を記入できない。申請の時期をずらすことはできないか。	教務委員会	教務委員会において、司書教諭科目の時間割等について、学生・就職委員会および学生モニター会議から、学生が司書教諭科目を履修できるような時間割の検討依頼があったことが報告され協議が行われた。司書教諭科目の授業担当教員から受講者の受講動機づけ等についての要望があったことや、教員採用試験における加点制度への学部としての対応をどう考えるか等についても情報交換・意見交換があった。 その上で、平成27年度前期に開講される「学校図書館メディアの構成(水・4)」及び「学校経営と学校図書館」(木・4)について、同じ曜日時限に開講される2年次対象科目を他の時間帯で開講する等の調整が可能なかを、各教室にて検討いただくよう依頼があった。該当科目がある専修・コースの教務委員が、授業担当教員へ確認した結果、水曜4限の4つの科目については変更可能との回答があり、時間割変更を行うことになった。次年度以降は、より大幅なあるいは抜本的な対応が可能かどうか、課程再編の検討においても考慮して協議する。
4	(幼年教育)実習に行く前に、幼年教育の授業(幼稚園教諭)に保育案を実際に書いて、模擬授業を行うようなものがほしい。	幼年教育教員	課題を認識したので、今後対応を考えていく。
(教員採用・一般就職について)			
5	(音楽文化)就職ガイダンスの機会をもっと設けてほしい。同じコースの先輩の進路先をグラフデータで示してほしい。またガイダンスの時期を早く設定してほしい。	学生・就職委員会	平成26年度中に全学で実施している就職セミナーのテーマ・開催日一覧を教育学部2号館1階の就職関係の掲示板に掲示しました。これらに参加を希望する場合、3年生・M1の申し込みに余裕があれば2年生も参加できます。個別に就職支援課に問い合わせてください。

6	(音楽文化)学科内で、どんな進路に向くのかとかを知りたいという人がいる。また、個別的な対応がほしい。	学生・就職委員会	現在、就職支援課にはどこに就職したかを記載した「企業別在職名簿」(卒業生の名前入り)と就職先名や就職率等を記載した「就職情報調査表」があります。 企業別在職名簿については卒業生名入りで就職先が企業名別で閲覧できます。(就職支援課でのみ閲覧可能)ただし、情報開示の許可を得た卒業生のみで全員ではありません。就職情報調査表については卒業生名は記載していませんが、学科ごとの就職先が記載されています。(過去4年分、就職支援課でのみで閲覧可能) これを活用していただければ、卒業した先輩がどこに就職したかを知ることができますと思います。
(学習環境について)			
7	(国語)合同研究室にゴミの分別表がないので、それを置いてほしい。	国語	合同研究室に「教育学部ゴミ分別表」を掲示しました。
8	(特別)特別支援の学生は実習期間が10月後半までである。ところが、教科書販売期間がそれより前に終わる。実習中に購入することが難しい(授業準備等による)こともあるので、期間を延ばしてほしい。	執行部	生協に検討を依頼しました。
9	(英語)実習中に黒板を使うことのできる英語講座の教室がない。共通教室など、黒板のある部屋を土日に開放してほしい(模擬授業のため等)。事前申請をしようとしても、実習中には申請できない。	英語教育講座教員	既に黒板を購入し、英語演習室に設置しました(3回生には周知済)。
10	(技術)学部チーム前の掲示板の掲示物をHPで見れるようにしてほしい。長期休暇中の帰省中に見に行くことができない学生にフォローを考えてほしい。学部の情報について件名だけでも一覧にしてアップしてほしい。	教育支援課教育学部チーム	この件につきましては、既に平成25年2月に開催された学生代表者会議委員から「全ての掲示板の情報をWEB掲示板へ掲載してほしい。」との要望が出されており、検討した結果、(平成25年9月の教育学生支援会議において、)今後もWEB上と掲示板との二重化には努めていくこととされ、掲示板については、掲示物に掲示期限のゴム印を押すことにより整理につとめることとなりました。WEB上については、修学支援システム及び学内の電子掲示板(修学支援システムの「お知らせ情報」「休講補講等」)が掲載できるようになっておりますので、掲示内容により、WB上と掲示板との活用により、夏期休暇のみの周知とならないよう今後気をつけていきたいと思っております。
(全般)			
11	(造形芸術)支援システムの学生の個人情報を打ち込む画面で、保護者の連絡先を入れる箇所が10桁までしか入らない(携帯電話の番号が入力できない)。また、特別な事情(家族が普段は電話に出られないので、代理の連絡先を入力するなど)について、特記する欄を作ってほしい。	教育コーディネータ、全学教育支援会議	支援システムにおける学生の個人情報の画面においては、現在、保護者の連絡先は携帯電話は入力できるようになっています。なお、特別な事情における特記する欄の作成については、担当部署に要望があった旨依頼しましたが、システムにおいて、すぐに対応は難しいとの回答でした。

12	(造形芸術)教育学部の授業日程(2、3回生用など)が支援システムでいつでも見えるようにしてほしい。	教育支援課教育学部チーム	HPへの掲載については、すぐに対応させていただきました。現在、全学のHPで公開されている授業日程のところに、「教育学部2、3回生用」も追加して掲載しております。また、教育学部オリジナルサイトにも在学生の皆様への授業日程欄に掲載しましたのでご活用ください。
(モニター会議終了後に寄せられた意見)			
13	(社会科/生活環境)出入口となっている部分に駐輪している自転車、また、線からはみ出して駐輪している自転車は、往来を妨げる迷惑駐輪である。この駐輪スペースには自転車が出入りできると想定される「入口」が4か所ほどあるが、迷惑駐輪が目立つのは屋根付き駐輪スペースの両側である。とくに本館側2号館寄りの「入口」に往来を妨げる迷惑駐輪がある。その原因は、屋根付き駐輪スペースに駐車された自転車から「連続して」止めることが可能だからではないか。屋根付き駐車スペースから「連続して」止めるという意識を喚起しないように、明確な「しきり」を設けて「入口」だということを明示するか、駐輪する学生がそう意識できるような工夫をすればよいのではないか。 ・噴水工事のために駐輪スペースが減少したことに不満が噴出している。 (あくまで学生のマナーの問題であることをふまえたうえで、「『入口』とわかるような印などの工夫をしてほしい」ということが学生の具体的な意見)	総務部総務課	駐輪スペースの枠をはみ出て駐輪している自転車が多数あるため、業務支援室において学生アルバイト等により、定期的に整理を行っていますが、ご意見のとおり、改善されていないのが現状です。学生さんへの意識付けが重要であると考えますが、安全面の配慮も必要ですので、まずは、入口であることを明確にするために看板を設置することとし、看板があることで駐輪状況がどう変化するかを観察するようにいたします。 噴水工事期間中は、ご不便をおかけしまして申し訳ございません。これまでの駐輪台数を確保するため、工学部講義棟西側の駐輪場に自転車ラックを設置したり、工学部4号館西側旧バイク置場を駐輪場にしたりしましたが、まだ、うまく運用されていないのが現状です。 グリーンプロムナード完成後に、あらためて駐輪に関して周知するとともに、工事後の駐輪状況を見ながらあらためて検討するようにします。
14	(生活環境)インターネットで確認できるシラバスについて、稀に真っ白なものがある。選択必修や必修の科目でもそうしたものが見受けられるので、早急に各講座の先生方へ入力いただきたい。また、シラバス授業内容が異なる科目があるので、シラバス通りの授業をしてほしい。	教務委員会	年度途中からの講師交代等により具体的にシラバスが入力されていない科目については、その後、入力がなされた。シラバス未入力という指摘があったことについて教務委員会で報告し、各講座で注意していただくよう促した。また、シラバスと授業内容との一貫性について学生から要望があったことも教務委員に伝え、各授業者に伝えて欲しいことをお願いした。
15	(生活環境)たとえば生協前の駐輪禁止ゾーンには緊急避難用具を設置する場所などがあり、緊急時に必要な設備が使えなくなる可能性がある。所定の場所に駐輪するよう働きかけてほしい。	執行部	緊急避難用具を設置する場所には、黄色のペンキで目印をしています。そこには自転車を置かないのが常識です。学生諸君のモラルが問われていると思っておりますが、教育学部だけの問題でないため、全学の学生代表者会議でご意見をお伝えください。
16	(造形芸術)入棟できない期間を掲示だけでもよいので知らせてほしい。現在、入試の時は掲示があるようだが、長期休暇中の出入りについては先生から教えてもらえないとわからない。学内での自主勉強やグループワーク、長期の作品作りに役出るので検討いただきたい。 【追加】AO入試、推薦入試など入試がたくさんあり、いつ入棟できないのかが分からない。一覧にして掲示してほしい。 お盆の時期に3号館1階で作業をしていたら、窓をノックする人がいた。窓を開けると留学生らしき人がいて「カードで入れないので(隣の建物、2号館)開けてほしい」と言われた。留学生にも使用できる時期とできない時期を知らせてほしい。	総務チーム	現在主要な入口には掲示しているが、入試と同様各入口にも掲示し周知するようにしたい。 留学生には、別途周知するようにしたい。 入試時の入棟禁止については、1ヶ月前から各出入口に掲示で通知しております。同時に、今後の予定についても追加して掲示することで対応したい。

17	<p>(造形芸術)コース縮小(改組)で行われている各所の工事について、学生に詳しい知らせがないのはなぜか。コース縮小(改組)については備品(会議で出た黒板の購入の是非や早目の処分など)や引き継ぎ(最後の回生は負担が大きくなるので新しいルールを決めるなど)など、できること・やるべきことは多くあるにもかかわらず、詳細がわからないので困っている。また、改組をめぐるコース廃止について学部から直接説明を受ける機会がなく、悲しい。</p> <p>また、(それに伴う)工事によって学生自身の大学生生活の場が大きく変わると思うが、それについて情報が欲しい。耐震工事などの理由があるとは思いますが、デメリットも多いと感じている。情報が乏しい(あるいは直接説明を受ける機会がない)ため、工事についてよくない噂が流れたり、駐輪所の場所に対する不満も多い。</p> <p>【追加】在学生への説明がない。オープンキャンパスの時に冊子に書いてあって初めて知った。コースが続かないことによって、教室を開けわたさなければならないのではないかと心配している。立体制作で使用する物品の購入の予定が変わってくる。高価な物品を1回買って、何年もかけて使用し続けるということもあるので、予算的にも無駄になる。</p>	執行部	<p>教育学部の改組や工事については、学担の先生もご存じですので、学担の先生へお尋ねください。なお、改組は計画段階です。コースの学生が卒業するまで責任を持って今までどおり教育しますのでご安心ください。</p>
18	<p>(造形芸術)工事の内容について、学生や教員の意見は反映されないのだろうか。教育学部の問題ではないかもしれないが、現在の工事予定を見ると景観はよくなるかもしれないが、利用のしやすさについては疑問がある。大学を最も利用しているはずの学生や教員の意見が反映されていないように思えるが、それはなぜか。学内には景観デザインに詳しい教員やそれについて研究している学生もいて、異なる可能性を提案できたかもしれない(噴水以外の要素で心地よい空間をつくるなど)。</p> <p>【追加】学生には知らせてもらえないのか。図書館前改修、メディアセンター改修、バイク置き場設置、どれをとっても急に決まった。今年の改修については、何のために噴水を作るなどの工事をしているのか。工事車両が走り回り危ない、狭い。法文学部は駐輪場が庭になってしまった。かわいそうだ。バイク置き場も狭いし、駐輪場も狭い。在学生のことを考えているのか。デザインについても、普通以下である。学生の意見を反映させる可能性はなかったのか。反映できるならなぜやらなかったのか。1年前の2月9日に掲載された愛媛大学新聞部のブログを見て驚いた。新聞部は施設基盤部に取材に行ったが、「学生の意見を聞かせてほしい」と言っていたらしいが、学生の意見は反映されたとは記載されていない。新聞部が在学生にアンケートを取ったところ、「この計画を知らない学生が6割、計画に反対だという者が三分の一を超えた」ということである。また、「施設基盤部は地域との交流の場になる」と話しているそうであるが、学外の人が利用するというのであれば、不審者対策はどのようにするのか。学生が利用する場所が狭くなっているが、使える場所はどこにあるのか。</p>	執行部	<p>全学での決定事項であるため、教育学部として対応しにくいところがあります。全学の学生代表者会議で要望をお伝えください。</p>

19	<p>(技術)タブレットやiPadを用いた授業研究を行うことのできる環境を学内に整備してほしい。近年学校現場でも使われることになっているので、学部として何らかのかたちでの支援を考えてほしい。</p> <p>【追加】教育実習などでもモバイル型の情報機器を使用することが増えているが、それを整備していないので、整備をお願いしたいとのこと。具体的にはICT演習室に配置してほしい。</p>	執行部	<p>教育学部予算は厳しい状況にあり余裕はなく今すぐとはいかないですが、ICTを利用したカリキュラムの変更など、今後前向きに検討していきたい。</p>
20	<p>(技術)教育学部への入棟許可開始時期を「教育実習開始直前の土日から」に統一してほしい。今年度の教育実習開始前に学生から事務へ学部等への入棟許可願を提出した際、入棟許可開始時期が教育実習の始まった第一週目の土曜日、9月6日以降で許可するという説明を受けた。しかし、中学校技術の実習生4名は8月末の事前指導で「早速9月1日、2日に授業実践を行うように」と教科担任から言われ、授業準備をしなければならなくなり、その直前の8月30日、31日の土日に自専修での実験室で準備を行おうとした。ところが、9月6日以降で許可が下りていたために大学に入れなかった。後で他の学生に聞くと9月6日以前から許可され、学部棟へ入ることのできていた3回生もいたそうである。受付の統一化と入棟許可開始の時期の変更をお願いしたい。</p>	総務チーム	<p>入棟開始時期について、今後統一するようにしたい。</p>
21	<p>(技術)大学生協に入っていない学生でも学内にいるipa専用コピー機を使えるように対策してほしい。</p> <p>【追加】2号館3階に配備している印刷機はipaでしか料金が支払えない。その他の方法で印刷できるようにしてほしい。</p>	生協	<p>生協に加入していなくても学生証を持っていれば、ipa(生協電子マネー)が使えるようになっています。恐れ入りますが、生協でチャージ(1000円～)をしていただき、ご利用ください。</p>
22	<p>(技術)学生モニター会議の回数を2回にしてほしい。公的に意見を言える場がもっとほしい。会議時間中に意見を言いきれないことが多い。また、検討後の回答も一年後であり、当会議に出席した学生が聞けないことになる。会議が開けないとしても、何らかの仕方で学生の意見が通るような仕組み作りをしてほしい。</p>	<p>執行部</p> <p>学生・就職</p>	<p>検討後の回答は、1年後ではなく、早くするようにしています。その都度の意見は、教室の先生方に話してください。</p> <p>昨年度(平成25年度)の場合、会議は12月12日に開催されました。学生就職委員会が作成した会議内容と要望に関する回答は、翌年の3月18日に会議に参加して頂いた学生全員に返信しています。講座の学生の皆さんへの連絡も行うよう依頼をしていますが、結果が伝わっていません。</p>

23	<p>(技術)・学生生活支援課への意見。毎年この時期に「サークルガイドブック」へ掲載する「学生団体紹介の原稿」の提出があるが、その提出方法が、未だに紙の原稿に手書きして提出し、事務方がそれを「写真撮影」して電子データにするという方式を取っている。教育学部所属の「技術教育研究会」では電子的にワープロで作成する為、毎年、原稿内の枠や文字を自ら作り、さらに画像も貼り付けている。これが手間になっている。</p> <p>「サークルガイドブックの学生団体紹介の原稿を電子ファイルで渡す。また、電子ファイルで提出できるようにしてほしい。」具体的には、愛媛大学HPなどで電子ファイルでダウンロードし、データで窓口に提出できるよう明文化し周知してほしい。(他のサークル関係ファイルをダウンロードできる仕組みが出来ているはずである。)</p> <p>【追記】USBフラッシュメモリーを係に持って行き、電子データのフォーマットをもらえば、デジタルデータを作成できるそうです。</p>	学生生活支援課	<p>電子データでの原稿配付及び電子データでの提出は、これまでも要望を頂いた団体については対応致しておりましたが、それが可能である旨を、原稿作成依頼の文書には明文化しておりませんでした。このため、原稿の電子データの配付や提出受付は行っていないものと、学生さんに誤解を与えていたのだと思います。来年度は、依頼文書へ明文化するように致します。</p> <p>また、原稿データを大学HPからダウンロード可能になるよう、対応致します。</p>
24	<p>(国語)風邪など体調不良の時に教員に連絡する場合、学務に電話連絡するのではなく、パソコンなどで欠席のメールを送れるようにしてほしい。</p>	教育学部チーム	<p>授業を欠席する場合の連絡は、風邪など体調不良時ではなく、「愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せ」(学生生活の手引き参照)に該当する理由の場合について、授業欠席申出書により授業担当教員へ申し出ることとなっております。なお、実習などで欠席連絡が必要な旨、ガイダンス等で説明があった場合については、欠席の連絡方法について、担当の先生にご確認ください。</p>
25	<p>(国語)2号館のエレベーターについて不安になること(例えば、「ドアが閉まります」というアナウンスがあったにもかかわらず閉まらなかった、止まった時に下にいったん沈むように揺れる)があった。エレベーターの点検をお願いしたい。</p>	総務チーム	<p>定期点検の報告に異常は、ありません。</p> <p>止まった時に、一旦沈むように揺れる動作は、このエレベーターの特徴ですので、心配いりません。</p> <p>アナウンス後の扉の動作を確認しましたが、異常はありませんでした、次回点検時にメンテナンス業者に確認します。</p>

平成26年度教育学部学生モニター会議 参加者名簿(教職員)

	氏名	所属講座
部長、委員長		
学部長	三浦 和尚	国語
評議員	佐野 栄	理科
副学部長	浅井 英典	保健体育
総務	竹永 雄二	英語
教務	橋本 巖	心理
学生・就職	東 賢司	国語
実習カリキュラム	露口 健司	教育学
教育コーディネーター	佐藤 栄作	国語
教職コーディネーター	山本 久雄	教育学
事務		
教育学部事務課長	竹内 厚	
総務チームリーダー	神野 亜紀子	
総務チームリーダー	平高 哲也	
教育支援課教育学部チームリーダー	森中 純子	
学生・就職委員会		
家政科教育学講座	眞鍋 郁代	家政
学生・就職委員会WG		
	杉田 浩崇	教育学
	竹永 雄二	英語
	佐々木 昌夫	美術
	中野 広輔	特別支援
司会	杉田 浩崇	教育学